

TAKEHARA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

WEEKLY BULLETIN

竹原ロータリークラブ週報



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

会 長	下山 生修	副SAA	金澤 節生
会長ノミニー	荒谷 隆文	直前会長	佐々木秀明
副 会 長	木村 安伸	管理運営	藤中 保
幹 事	朝比奈勝也	会員組織	佐藤 守幸
副 幹 事	三好 静子	奉 仕	森 照明
会 計	小田 邦治	広 報	大成 義彦
S A A	夜船 正昭	R財米山	吉本きよ子

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目6-18樋ノ口屋おおぎビル203号
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651

Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/

<例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑
TEL 0846-22-2970

<例会日> 毎週木曜日 12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

今週のプログラム 1月12日

次週のプログラム 1月19日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生該当者会員卓話

ロータリー情報委員会担当例会

2011年12月15日 第2316回(自由席)例会記録
2012年 1月 5日 第2317回(自由席)例会記録

各会員各記念日 (1月)

- ◆会員誕生日 吉岡 一真 森 照明
小坂 啓子 澤原慎太郎
- ◆配偶者誕生日 菅 義尚 市川 重雄
朝比奈勝也 下山 生修

2011年12月15日第2316回

- ◆ソング:我等の生業
- ◆食 事:軽食

スマイルボックス

- ◆特別スマイル
 - ・お陰様にて前半を無事に終えることが出来ました。一重に皆様の御協力の賜物です。
(下山生修)
 - ・忘年家族例会に今年も9名参加させて頂きました。孫達が沢山プレゼントをもらって喜んでおりました。有難うございました。(本庄純夫)
 - ・11月29日全国暴力追放大会に於いて警察庁長官表彰銀賞を受賞致しました。(原田一平)
 - ・忘年家族例会皆様多数御参加頂き有難うございました。当日は私の誕生日でもありました。
(堀越賢二)
 - ・12月8日第351回たけの子会コンペで優勝しました。次回も優勝します。(土居敏昭)

幹 事 報 告

- 幹事 朝比奈 勝也
- ・ポリオ2億ドルチャレンジについて
ガバナー 田村泰三
- ・ラビットクロカンIN大久野島御礼
- ・国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
御献金お願い
- ・2012年新春互礼会ご案内 竹原青年会議所
日時 平成24年1月14(土)19:00
場所 大広苑
- ・4クラブ合同例会ご案内 瀬戸田RC
日時 平成24年3月14日(水)
場所 瀬戸田市民館多目的ホール

委 員 会 報 告

- ◆親睦活動委員会 委員長 堀越 賢二
12月11日(日)大広苑に於いて開催した忘年家族例会には多数のご出席を賜り誠に有難うございました。市川会員には出席者全員へクリスマスケーキを御提供頂き有難うございました。又、子供達へのプレゼントを大成会員、三好会員から御提供頂きました。
- ◆SAA 夜船 正昭
2012年1月5日(木)18:30より大広苑に於いて新年互礼会を開催致します。

会 長 時 間

前半を振り返って

会長 下山 生修



本日の例会で私の年度は半分を迎えます。6月のリハーサル月間がスタートして前半が終了しましたので時系列に振り返ってみます。正に光陰矢の如しです。SAAの夜船さんの監督のもと、本日までスムーズに例会等が進行できたことに感謝致しております。

前年度分として、6月は9日に職場例会を福山陸運事務所で開催致しました。車検が流れ作業で進むことに驚異を覚えました。第三例会は三原RCより上田ガバナー補佐及びガバナー補佐幹事の来訪を受け、親しくガバナー公式訪問のレクチャーを受けました。18日には「青少年の主張」を市民館にて市内中学生の迫力ある主張を聞かせてもらい、青少年の意気を感じました。24日には佐々木会長の代理で、まつり協会の総会に出席、26日は的場清掃に参加、30日はお別れ例会と立て続けにリハーサル月間も大忙しでした。

7月1日市長・教育長への就任挨拶。7日会長・幹事方針発表と愈々本番始動開始。14日、各委員長計画発表。23日芸南水泳大会出席、記録更新者1名でした。この月、私から会員の皆様に座右の銘を披瀝することを提案致し、順次御披露頂いております。これは会員一人一人が生きてきた本分をオープンにして頂くことで、その人の生き様が良く理解できることからご提言した次第です。

8月18日第三例回にて会員増強委員長の佐藤委員長から横断的増強プロジェクト実施の説明があり、爾来若手を対象とした会員増強のキャンペーンを展開中であります。8月17日安芸津の夏まつり実行委員会があり、これに出席。20日あいにくの雨、安芸津の夏まつりに皆さんと出席参加。

25日、大久野島での納涼家族例会実施、義本支配人より3.11震災の影響で入会が遅れている旨説明がありました。26日竹原市暴力団追放市民協議会に出席、27日地区指導者育成セミナーに佐藤会員増強委員長、吉本財団委員長共々出席して参りました。

テーマは①ロータリークラブは誰の何の為のクラブなのか②これからのロータリークラブについて③増強に関する点、でありました。

9月1日新入会員夜間研修会にて、藤中、本庄、吉岡研修リーダーのレクチャー及び討議がなされました。8日新世代奉仕担当にて鴨宮委員長の肝いりのもと、東克哉氏の卓話がありました。15日職場

例会として道の駅にて実施、先方のレストランランチを試食致しました。19日東広島市安芸津町敬老会出席、25日体力テストふれあいスポーツ大会出席。29日上田ガバナー補佐プレ公式訪問があり、ガバナー公式訪問の打ち合わせ及びクラブアッセンブリーの実施。10月3日共同募金運動を竹原駅等にて実施。6日田村ガバナー公式訪問、田村ガバナーを筆頭に金井随幹事、上田ガバナー補佐、中川補佐幹事が来訪されました。RLI方式にてクラブフォーラムを行い、クラブ協議会も出席され熱心な討議が行われました。この時、第7回米山功労クラブとして感謝状を授与して頂きました。10月15～16日地区大会にて柳井へ、会員以下17名が出席、柳井中のホテルを駆使した大会でございました。17日竹原市キャリアウィークスタート実行委員会に出席。会員事業所への参加を求められました。20日第三例会地区大会参加者の概要報告、22日竹原青年会議所(JC)45周年記念総会出席、JCメンバーへの入会勧誘を展開しました。27日月見家族例会を広島エアポートホテルにて開催、41名出席。

11月12日グループ9財団研修会がポポロにて開催、荒谷エレクト、本庄委員長共々出席しました。田村ガバナー、ガバナーエレクトを含め地区役員の出席があり、未来の夢計画について活発なディスカッションが行われました。19～20日RYLA実施、東克哉氏に御参加頂きました。24日新世代奉仕として東氏が卓話にてRYLAの報告。

12月11日忘年家族例会を大広苑にて盛況裡に開催、67名出席。以上無事に終えることが出来ました。年明けから始まる後半へ向けて会員の皆様の絶大なサポートをお願いして前半の総括と致します。

12月11日忘年家族例会を大広苑にて盛況裡に開催、67名出席。以上無事に終えることが出来ました。年明けから始まる後半へ向けて会員の皆様の絶大なサポートをお願いして前半の総括と致します。

12月11日忘年家族例会を大広苑にて盛況裡に開催、67名出席。以上無事に終えることが出来ました。年明けから始まる後半へ向けて会員の皆様の絶大なサポートをお願いして前半の総括と致します。

座右の銘

会員 佐渡 文武



座右の銘と云ったものは別にありませんが、私は家業に携わって60年余りになります。なにぶん自然を相手の職業でありますから、仕事も収穫もお天気次第と云ったのんびりしたところは昔も今も余り変わっていません。こうした環境からかもしれません。私には何時も「急ぐな、焦るな」を念頭にポツポツ歩いて何時の間にか82才、山に例えれば八合目にやっと辿りつきホット一息ついている思いであります。そうは云ってもイライラするし、急いだり、焦ったりして思うようにならず色々ありましたが、昔の人は「急いではことを仕損じる」

「焦りは禁物」とよく云ったものです。これからは自戒を込めて元気であれば頂上を目指して歩き続けたいと思いますので今後も宜しくお願い致します。

ます。
今日は折角時間を頂きましたので、「久野島」の話を見せて頂きます。戦後65周年の記念事業として、再び戦争を繰り返さない為に毒ガス工場にかかわった方々の証言を元に「大久野島毒ガス障害その実相と継承」の記念誌が発刊されました。その記録記事によりますと、この地に毒ガス工場の設立が決まったのは、昭和2年8月であります。3戸の住民民有地がありましたが、買収立退きが容易であること、離れ小島で化学兵器の製造・研究が便利であること、宇品に陸運の輸送部隊があったということで当地に決まったということです。今の時代なら反対運動もあるかもしれませんが、当時は住民民有地も強制立退きであったようです。開所式は昭和4年5月19日、私の生年月日と余り変わりませんが、当時の従業員は80名でありました。昭和12年支那事変発生後、急成長して従業員数2,000人を超え各設備も工場も増強されました。更に太平洋戦争が勃発する昭和16年頃、最盛期を迎え、労働力の不足が深刻になり「学徒動員令」により近隣の9校から、13才～17才の女学生、中学生、国民学校高等科の生徒1,156名が次々と動員されました。最盛期にこの製造所で働いた従業員は、徴用工、学徒併せて5,000人とも6,000人とも云われていますが、陸軍省マル秘資料によりますと、全部併せて1,383人と記されています。島内の作業は、雑用係のようなもので、山林の防火帯づくり、工場の撤去作業、タコツボ掘り、防空壕掘りの土だし作業等。後半になると、発炎筒の充填作業、風船爆弾、発電所のタービン清掃作業等、なんでもやりました。やがて8月15日の終戦を迎え、各学校へ復帰致しました。

(追記)

学校別動員数

忠海高等女学校	321名
竹原高等女学校	47名
安芸津高等女学校	100名
幸崎国民学校高等科	100名
吉名国民学校高等科	50名
忠海中学校	296名
瀬戸田高等女学校	118名
大乘国民学校高等科	24名
忠海国民学校高等科	100名
合計9校	1,156名

『沖縄防衛の一考案』

会員 大田 嘉弘



「八原戦略を徹底すれば沖縄は終戦まで確保できたか」と云えばYESである。

八原大佐は生きていれば110才ぐらいで、沖縄第32軍の作戦主任参謀であった。鳥取中学出身で、陸士、陸大、米国駐在の大秀才で晩年は鎌倉に住み私は二度会っている。もちろん、優秀な軍人であったが学者タイプの人柄であった。

昭和54年に出版した「沖縄作戦の統帥」の主人公である。沖縄防衛軍の第32軍は八原大佐の作戦計画に従って4月1日の米軍上陸後、専守防衛主義によって米軍に日本軍以上の損害を与えながら頑張っていた。

ところが、日本軍上層部の強要によって5月4日、一転して攻撃に出ざるを得なくなって大きな損害を生じて敗北し、6月23日玉砕した。この攻撃によって失った兵力は精鋭約5,000名で砲兵弾薬大多数撃ち尽くした。

この攻勢をとらず専守防衛すれば沖縄守備軍の約四分の一が残り、終戦まで沖縄は防衛できたであろうというのが私の考えである。

出席報告

総員	出席	メイク	欠席	免除	出席率
35名	25名	3名	5名	2名	85.71%

2012年1月5日第2317回 新年互礼会

◆ソング：国歌・奉仕の理想

会 長 時 間

会長 下山 生修

皆さん、新年明けましておめでとうございます。
今年干支でいえば「辰」、みづのえたつと申します。年男は私を含め四名いらっしゃるそうです。ネットを見れば、生命のない残物を清算して地ならしを行い、新たな生長を行う待機の状態であると謂います。
高島易断は今年の経済を「亨りて 貞しきに 利あり」と読んでおります。
つまり、正しい道「本義」を固く守り進むものは慶び事が重なって嬉しい限りと解釈しております。これは企業のM&Aのみならず、個人の技、技術や経験、そしてイノベーションの覚醒を積極的に行えとも解釈できます。
この新しい年を、皆さん頑張りましょう。

幹 事 報 告

幹事 朝比奈 勝也

- ・タイ洪水被害義援金2710地区総額2,413,563円
- ・第四期RLI-2710分科会研修パート1ご案内
日時 平成24年2月12日(日)
場所 広島都市学園大学
- ・RIJYEC維持協力金依頼 一人100円
- ・平成24年竹原市成人式ご案内
日時 平成24年1月7日(土)
- ・2011-12年度広報補助金プロジェクト
広島東RC申請 RCCでCM放映

辰 年 紹 介

本庄純夫、川本照夫、下山生修、吉田卓司



出 席 報 告

総員	出席	メイク	欠席	免除	出席率
35名	28名	0名	5名	2名	85.3%

